

## 第 89 回生化学会参加報告

D1 長井広樹

9/25~9/27 に仙台にて開催された生化学会にて、ポスター発表と口頭発表をさせていただきました。これまでに参加してきた学会のように、口頭発表の後にポスター発表を行うものと思っていましたが、実際にはその逆の順番でした。そのため、口頭発表で省いた点をポスターで、というわけにもいかず、スライド作りには苦戦しました。その過程で、自分の中で描いていた研究発表のストーリーが聞き手にとって不自然で分かりにくいものであることに気づくことができました。研究室の方々と交わしたディスカッションのおかげです。日々自分の研究について考えるあまり、無意識のうちに思い込みが生じることがあるのだと身を以て体験しました。学生のうちにこうした経験ができたことはとても有意義だったと思います。

口頭発表当日は、生化学会のような国内最大規模の学会での初の口頭発表ということもあり、予想以上に緊張しました。幸いスライドの説明は問題なくこなすことができましたが、質疑応答の後半に質問の意図を取り違えた返答をしてしまい、悔いの残る発表となりました。目指していた優秀発表賞も逃してしまい、悔しさいっぱいです。この悔しさを今後のバネにして研究生活に精進していきたいと思います。

ポスターには多くの方々に来ていただき、1 時間の予定が 2 時間ディスカッションし続けるという、大変ありがたい経験をさせていただきました。昨年オートファジー研究会や 8 月の比較免疫学会で知り合った方が訪れてくださり、研究の輪が広がったような気がして非常に嬉しく思いました。また、雲の彼方の存在と思っていた先生ともディスカッションすることができました。喜びと驚きのあまり記憶がおぼろげなのが残念でなりません。

以上のように、生化学会では酸いも甘いも味わい、その両面から研究への想いを再確認することができました。このような機会を与えていただけたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 生化学会 レポート

M1 青木 優

今回、初めての学会への参加であり、不慣れなことが多い一方、非常に学ぶことの多い機会であった。ポスターのみの発表であったが、作製に至っては、これまでの自分の研究を一から見直し、今後の方針へも役立つものとなった。また、データを分かりやすく伝えるための技術も学ぶことができた。

学会では、これまで論文等を拝見してきたオートファジー関係の先生方からの講演を直接聴くことができ、研究に対するモチベーションに多大な刺激を受けた。また、ポスター発表では、ウイルスやオートファジーを専門とされている他の研究室の方から多くのご指摘を頂き、これまでの研究について有意義な議論ができたと思う。

今回の生化学会への参加は、さまざまな面において新たな視野を開拓することができ、今後の研究室生活へ活かしていけるよう努力したい。